

顧客の立場から
ベストプラクティスを追求する保険仲立人
M&Kコンサルティング株式会社 8

中小企業に活力を与えたい
事業者団体コンサルタントとしてもサポート

「中小企業に活力を与えたい」——M&Kコンサルティング株式会社は、このように思いを胸に、2010年1月に設立された保険仲立人です。

日本に存在する企業の約99%が中小企業(資本金3億円以下または従業員300人以下)と言われており、その中小企業の中には長い歴史をもつ、いわゆる「老舗企業」も多く、創業100年を

超えている企業は2023年9月現在、約4万3000社(※1)あると言われている。しかし、2024年は

新型コロナウイルス対策の「ゼロ融資(実質無利子・

無担保融資)」の返済期限を迎え、融資を受けた企業の倒産増の影響など

もあって中小企業は減少してきており、それに伴って多くの中小企業が加盟している「事業者団体を

「事業者」としての共通の利益を増進することを主たる目的とする事業者の連合組織。協会や組合など」の数も減ってきて

います。中小企業に活力を与えるのが事業者団体であり、その事業者団体の活動が活発になるというこ

とは、その団体の会員である中小企業が活性化し、中小企業が活性化すればその業界が発展する



団体主催の会員向けセミナーの様子

理想の転換とは？
活性化のポイント

1. 団体事業に関する戦略的コンサルティング
協同組合や社団法人などの事業者団体は数多くありますが、設立の目的や活動内容は個々の団体によりさまざまです。会員の成長に寄与する潜在的な可能性がありながら、団体の活動が活性化されていないケースも見受けられます。弊社は、コンサルタントとして会員ニーズヒアリングや事業環境の調査を行い、その団体が会員にとって価値のある事業の再構築提案や新規事業提案などを行っております。

2. 団体保険制度・保証制度の運営受託
団体の魅力ある事業の一つに「団体保険制度」があります。団体側としては制度を導入することによって会員の流出防止や事務局運営費の費用捻出に役立つ有益な事業といえます。しかし、団体保険制度を導入するには、団体固有のリスクに

引き受け、事業者団体が会員にとって真に価値のある魅力的な団体として活動を続けられるよう、サポートしております。

■今後の取組み
現在、弊社が多く手がけているコンサルティングの団体が所属する業界は、主に建設業界です。建設業者は2020年度末で約47万業者あり、その多くが中小企業です。また建設業界には数多くの事業者団体が存在しています。しかし建設業界はいま、①着工棟数の減少②深刻な人材不足③残業規制④資材高騰⑤運搬費高騰等々、さまざまな問題を抱えているため、企業倒産・休業業・解散によって建設業者数がピーク時より約20%減少しています。そのようなさまざまな問題を抱えている建設業界を活性化させるために事業者団体は大きな役割を果たしているため、弊社は、既存顧客団体に対してはもちろん、新たな団体に対しても更なるコンサルティングを行っていき、保険仲立人としての役割も果たしてまいります。

(※1) PRTIME'S (2023年10月23日) 発表 株式会社帝国データバンク関連記事より